

大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正十二年三月二十五日印刷本(毎月一回一日發行)

哲 學 研 究

第 八 卷 第 四 冊

第 八 十 五 號

大 正 二 十 年 四 月 一 日 發 行

山鹿素行に於ける古學思想の發達……………

……………文學士 加藤 仁平

神學の方法論に關する考察……………文學士 久松 眞一

主觀的普遍に就て……………文學士 務臺 理作

物理學の基礎(グワイツド・ヘルベルト)……………

……………文學士 三土 興三

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內

京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員		書記
文學士	植田壽藏	
文學博士	狩野直喜	
文學博士	小西重直	
文學士	高坂正顯	
文學士	澤村專太郎	
文學博士	高瀬武次郎	
文學博士	田邊元	
文學博士	千葉胤成	
文學博士	朝永三十郎	
文學博士	西田幾多郎	
文學博士	野上俊夫	
文學博士	波多野精一	
文學博士	深田康算	
文學博士	藤井健治郎	
文學博士	松本文三郎	
文學士	務臺理作	
文學博士	米田太郎	
	寶殿方夫	

變的ならぬ方程式を特に要請した。

- (c) Nherungsweise der Integration der Feldgleichungen der Gravitation. Berichte d. Akad. zu Berlin 1916 S. 688.
- (d) Perihelbewegung des Merkur. Sitzungsber d. Akad. zu Berlin 1915 S. 831.
- (e) ber das Gravitationsfeld eines Massenpunktes. Sitzungber. d. Akad. zu Berlin. 1916. S. 189.
- (f) シュワルツシルトがした様に點 μ を零點に變換することば、私の考へによるに、適當でない。その上シュワルツシルトの變換はこの目的を達すべき最も簡單なものではない。同様の意味に於て質點をまた一點のまはりの電氣のある配分の極限の場合として理解せらるべきである。しかしながら私はこゝではその運動方程式を私の物理の根本方程式から誘導することばやらない光運動に對する微分方程式の問題についても同じこと。
- (g) この最後の制限をおくことの附加へはアインシュタインに於てもシュワルツシルトに於ても存しない。
- (h) それに従へば圓軌道上の質點の速度は軌道半徑の小さくなるに際して極限 $\frac{1}{\sqrt{2}}$ に近づくのであるところのシュワルツシルト結果は不等式 $\frac{1}{\sqrt{2}}$ に相當するものであつて上のこゝによつて至當でない。
- (i) 微分方程式(56)及(62)の詳細なる議論はまもなくこゝにあらはれるフアウ・フレデリックの報告の課題であるであらう。

専門的知識を缺くこゝに、原論文を充分に利用し得なかつたこゝ

物理学の基礎(グワイツド・ヘルベルト)

こゝのために、この翻譯に意外の誤謬があるかも知れないことを私はおそれる。識者あつて此正の勞をいこばざれば望外の幸である。(譯者)

寄贈書籍雜誌

哲學雜誌、丁西倫講演集、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、日華公論、教育研究、内外教育評論、教育、教育界、教育學術界教育時論、國際聯盟、精神運動、三田文學、見眞、講座、東洋思想研究、支那學

前 號 目 次

個體概念を通じて見たる「形而上學の要求」……………	文學士 河 瀬 憲 次
……	……
デカート哲學に關する二三の考察……………	文學博士 朝 永 三 十 郎
……	……
兒童精神力の性質的差異……………	文學博士 檜 崎 淺 太 郎
……	……
認識論より見たる相對性理論（カッシーラー）……………	文學士 岡 野 留 次 郎
……	……
彙報 其他……………	……

會 告

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六叁番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部内
京都哲學會
振替口座大阪參〇六六叁番

註 文 規 定

- ◎ 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- ◎ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- ◎ 振替貯金にて御送金は(振替大阪三三九五五番三九三一番東京三九三一番)内外出版株式會社宛に願上候
- ◎ 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ◎ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

廣告料

册	冊	冊	冊	冊	冊
一	六	十	十二	一	一
冊(前金)	冊(前金)	冊(前金)	冊(前金)	一頁	金參拾圓
金貳圓四拾錢	金貳圓四拾錢	金四圓八拾錢	金四圓八拾錢	半頁ハ取扱不申	
壹	壹	壹	壹		
郵	郵	郵	郵		
稅	稅	稅	稅		

大正十二年三月廿五日印刷納本
大正十二年四月一日發行

第八十五號 第八卷 第四册

京都帝國大學文學部内

編輯者

京都哲學會

右代表者

寶 殿 方 夫

發行者

大谷仁兵衛

印刷者

村上勤兵衛

印刷所

内外出版株式會社印刷部
京都府西洞院七條南入

發行所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版株式會社

振替口座 大阪三三九五五番
東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南
出張所 京都市京橋區加賀町十番地
販賣所 京都市神田區錦町一ノ一

内外出版株式會社

(東京) 東京堂 東海堂 北隆館
上田屋 至誠堂

賣捌所

(大阪) 盛文館 三文社
(神戸) 寶文館 川瀬書店
(京都) 共盛社 大盛社

不許複製
禁 傳 載

東京高等師範
教授文學博士 檜崎淺太郎著

再版 心理學の基本問題

菊判四百五拾頁
總 絹 美 裝
定價四圓參拾錢
書留送料廿五錢

著者は久しく心理學の研究に没頭し種々なる見地に立つ心理學を逐次消化して來たが、遂に種々なる心理學中の眞の心理學とは何か一切の心理學中の中樞たるべき心理學とは如何なる性質のものか及その研究方法如何等の基本問題に逢着し更に白熱的熱情をもつて是が研究に十數年來従つて來た人である。本書は是が研究の系統的な發表で心理學の對象及方法に關する問題を取扱つたもの。最近最も注目すべき學術上の大著述だ(萬朝報)論究解釋精細的確を得心理學研究の大道を指示せるもの(國民)で現代心理學の發達とその傾向を知悉するには唯一の參考書であり(時事)尊敬すべき研究書である(東日)

發行所 內外出版株式會社

(振替口座大版三二九五)

東京都西院七條南

(大正五年四月六日)大正十二年三月二十五日印 刷 納 本
(三編郵物認可)大正十二年四月一日發行(毎月一日發行)

哲學研究第八十五號

定價四圓參拾錢